

ハチノスツヅリガ（巣虫）のバイオ駆除法

■ B401 とは？

- ・ 微生物 (*Bacillus thuringiensis subsp aizawai*) の濃縮液で、人にも蜂にも無害です。
- ・ ハチノスツヅリガ (*Galleria mellonella*) の幼虫に対して 100% の効果があります。
- ・ 100% 生物農薬で 蜂やハチミツに残留しません。
- ・ したがってハチミツの風味にも影響を与えることなく、環境にも優しい方法です。
- ・ 長期の有効性を保証します。1 回の投与で次のシーズンまで巣脾を十分に守ってくれます。

■ B401 をどんな時に使うか？

- ・ ハチミツ採取後、巣脾を保存する時。次のシーズンに巣脾を再使用する時まで有効です。
- ・ B401 は蛾の若齢幼虫のみを駆除するので、巣が荒らされる前に予防策として使わなければなりません。(日齢の進んだ幼虫には効果がありません)

■ B401 の準備の仕方

- ・ *Bacillus thuringiensis* の芽胞から作られ、水で 5% まで薄めます。(B401 を 1、水 19 の割合)
- ・ 相応する量の水に加える前に B401 のビンをよく振って下さい。
- ・ 一度薄めた液はその日の内に使い切って下さい。水と混ぜる前に、処置したい巣脾の数に合わせておおよその B401 の必要量を見積もって下さい。

■ 溶液の量

- ・ 100% 巣虫を抑え込むために、巣脾の両面に 10cm 平方に対して 1.5ml の溶液を投与して下さい。
B401、120ml で 70~100 枚処置できます。

■ B401 の使用法

- ・ 使用前に混濁液になるようによく振って下さい。
- ・ スプレーを使って、巣脾の両側全体に均等になるようにかけて下さい。
- ・ 保管する前に、カビがつかないようによく巣脾を乾かして下さい。

■ 貯蔵と保存

- ・ 5℃ から 20℃ の温度で保存して下さい。
- ・ 12℃ 以下の涼しい場所で封を開けずに保存した場合、数年間は品質に変わりはありません。

■ B401 の安全性

- ・ B401 は蜜蝋やハチミツにいかなる残留物も残しません。(このことは有害物質でイギリスではどんな農産物への使用も禁止されているパラディクロベンゼンとは対照的です)
- ・ ミツバチの幼虫にも成虫にも無害です。
- ・ *Aizawai serotype7(B401)* は *Bacillus thuringiensis* の中でハチノスツヅリガに対して効き目のある唯一の種類です。



B401 は 1 本 120ml 入りと 10 入りがあります